

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	神戸市の渋滞対策について
調査期間	2023年6月22日（木曜）～7月5日（水曜）
設問数	全9問（分岐設問除く）
対象モニター数	7,156名
回答モニター数	4,484名（62.7%）

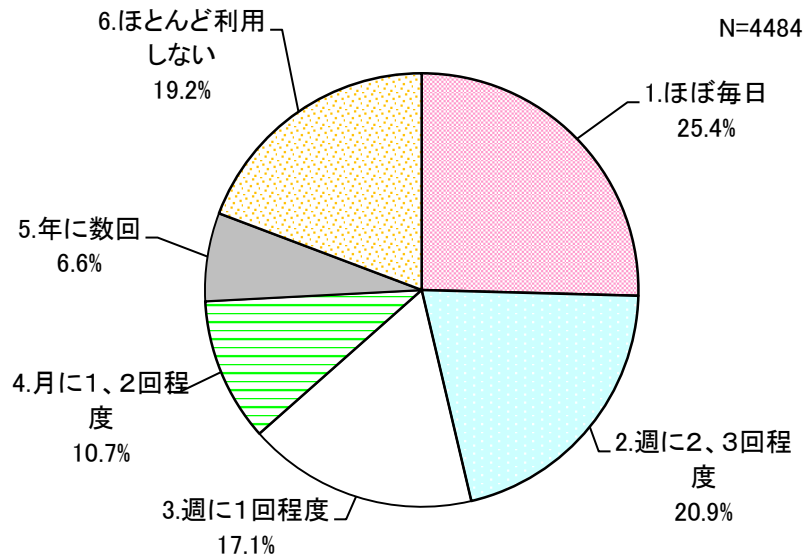
【調査結果概要】

渋滞対策として、道路整備などのハード対策を行うことはもちろんですが、ソフト対策として、自動車通勤している方々に時間帯や移動経路の変更を行っていただき、交通集中の抑制などを行うことで渋滞を緩和する「交通需要マネジメント」の取組みをより効果的に実施・展開していくため、本アンケートを実施しました。

- ・自動車の利用頻度について、「ほぼ毎日」が約25%、「週に2、3回程度」が約21%、「週に1回程度」が約17%、「月に1、2回程度」が約11%、「年に数回」が約7%、「ほとんど利用しない」が約19%でした。
- ・自動車の利用目的について、「ショッピング・レジャー・旅行」が約79%、「通勤・通学・送り迎え」が約41%、「業務」が約10%でした。
- ・阪神高速北神戸線の料金割引社会実験の取組みを知っていたのは全体の約16%でした。取組みを知ったきっかけとして、一番多かったのは「広報紙 KOBE」の約6%でした。また、ほかの路線でも展開されれば利用したいと思うかについて、「利用したい」が約49%、「利用したいと思わない」が約14%でした。
- ・阪神高速北神戸線の料金割引社会実験をより多くの方々にご利用いただくためにはどうすれば良いと思うかについて、一番多かったのは「割引適用区間をもっと広げる」の約59%、次いで「割引額を増やす」が約47%でした。
- ・小東山6丁目交差点渋滞回避 WEB ツールの取組みを知っていたのは全体の約4%でした。ほかのエリアでも展開されれば利用したいと思うかについては、「利用したい」が約45%、「利用したいと思わない」が約19%でした。
- ・小東山6丁目交差点渋滞回避 WEB ツールでどんな情報が配信されれば利用しやすくなると思うかについて、一番多かったのは「渋滞の度合いを何段階かに分けて表示」の約56%、次いで「商業施設の駐車場の満車情報」が約43%でした。
- ・その他自由意見として、ソフト対策の推進を望むご意見や、抜本的な渋滞解消にはハード対策（道路整備、レーン増設等）が必要であるといった声などをいただきました。

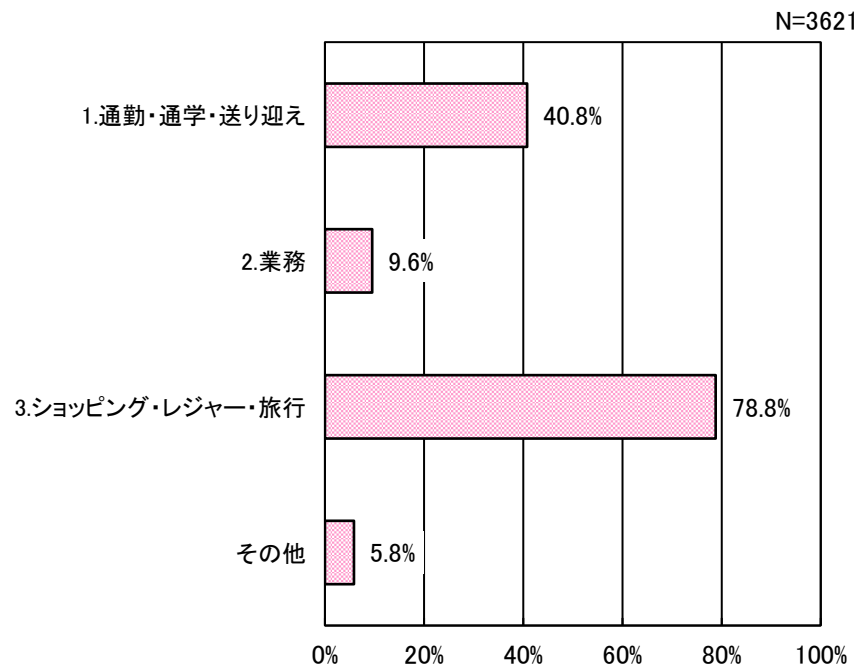
アンケート結果を踏まえて、より効果的な渋滞対策の推進に努めてまいります。

問1 あなたは自動車（バイク含む）をどのくらい利用していますか。（運転しない方は、乗車する頻度をお答えください。）



<自動車（バイク含む）を利用する方>

問1-1 あなたが自動車（バイク含む）を利用するときの、主な目的はなんですか。（該当するものすべて）



その他

- ・通院
- ・帰省

神戸市では現在、主に下記の「交通需要マネジメント」を実施しています。

ここからは、下記の事例①・②を参照しながらお答えください。

(1) 事例①「阪神高速北神戸線の料金割引社会実験」

【参考】神戸市 HP <https://www.city.kobe.lg.jp/a83166/experiment.html>

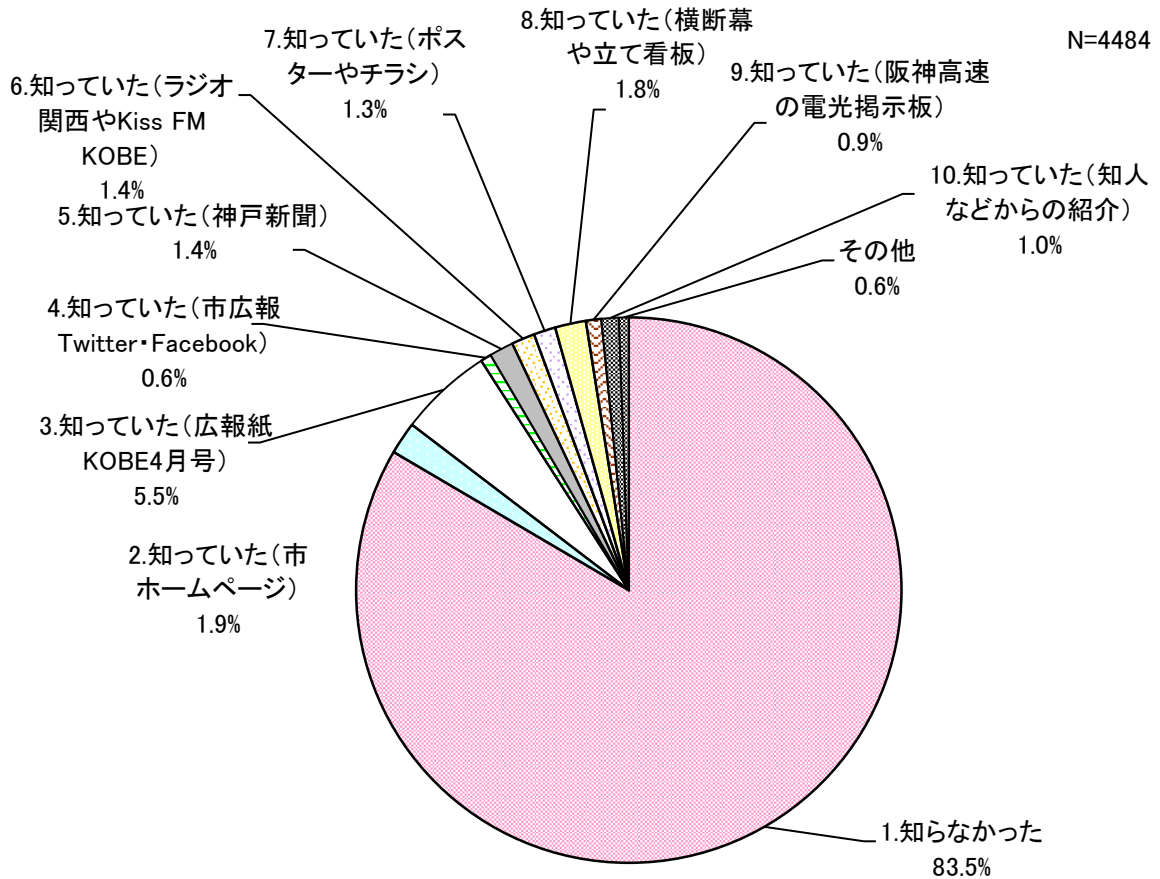
【内容】阪神高速7号北神戸線の料金を割引することで、神戸三田線(有馬街道)から阪神高速北神戸線へ交通を転換させ、神戸三田線の渋滞を緩和する対策

【期間】2023年4月17日～2024年3月末



阪神高速北神戸線の料金割引社会実験の概要

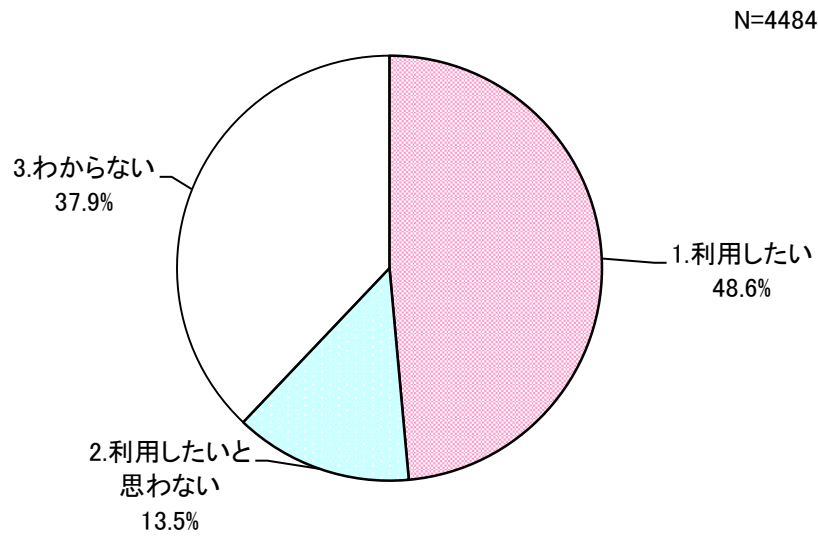
問2 事例①「阪神高速北神戸線の料金割引社会実験」の取り組みをご存じでしたか。また、ご存じであった場合は、どちらでこの取り組みを初めてお知りになったかを（ ）からお選びください。



その他

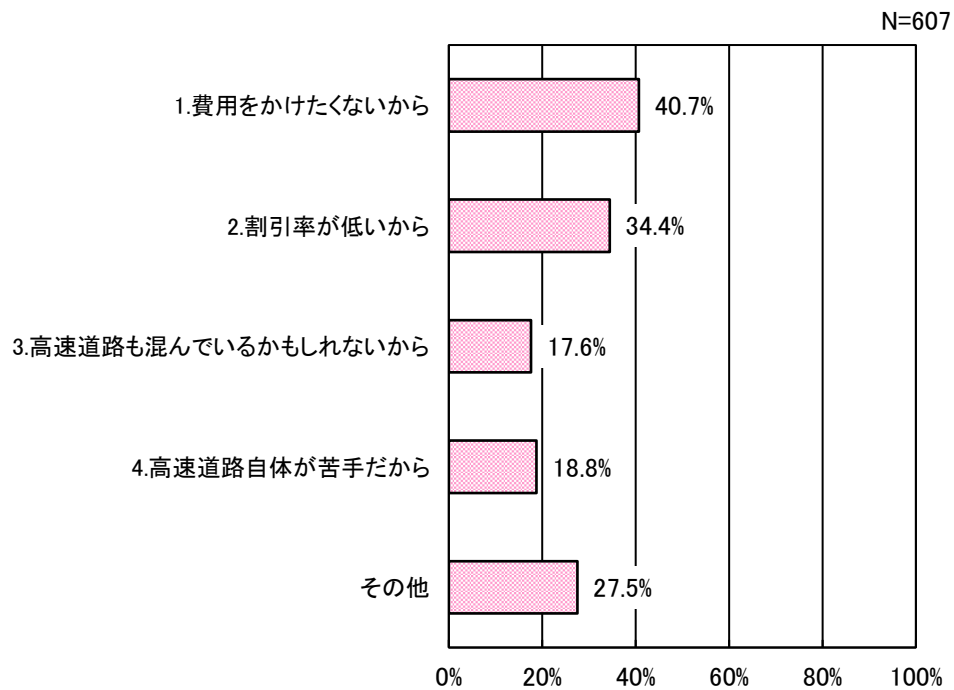
- ・ ネットニュース
- ・ 阪神高速道路(株)ホームページ

問3 事例①のような制度がほかの路線でも展開されれば、利用したいと思いますか。



<利用したいと思わない方>

問3-1 その理由は何ですか。(該当するものすべて)

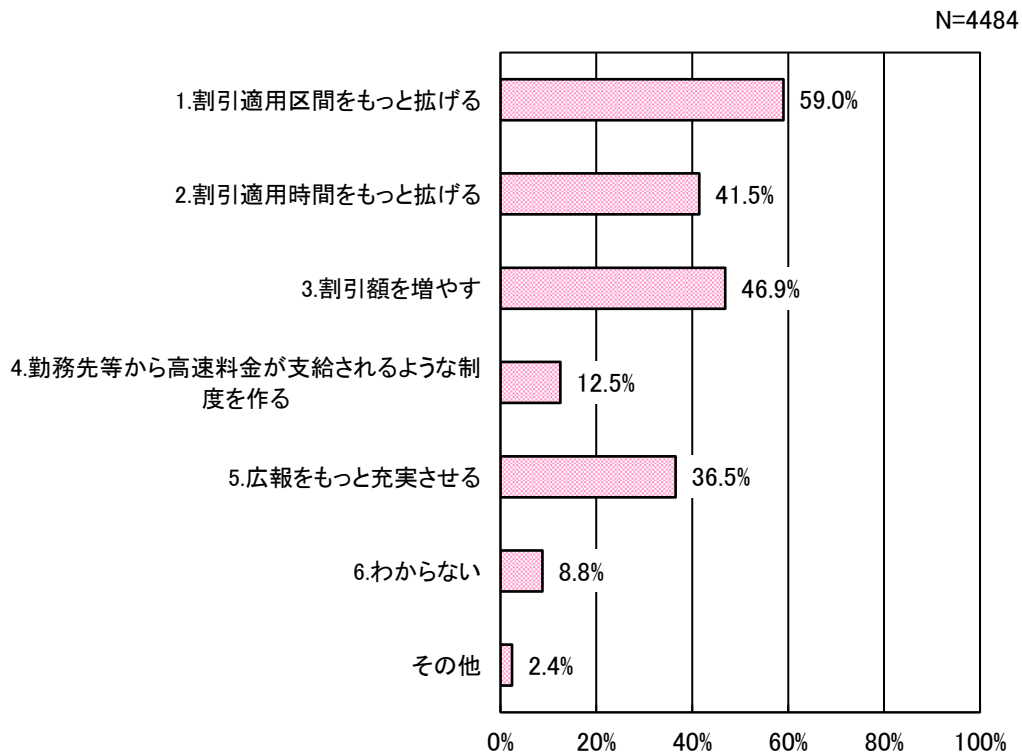


その他

- ・そもそも高速道路を利用しないから
- ・通勤のために高速道路を利用しないから
- ・どの区間が安いかどうかは気にしないから
- ・ランプの接続が悪いから（インターの場所が使いにくい）
- ・高速出口で渋滞しており、有効な時間短縮とならないから

- ・朝の通勤時間帯だけでなく夕方の帰宅時間帯も割引してほしいと考えているから
- ・費用と短縮できる時間を天秤にかけて考えた時にメリットを感じないから
- ・カーナビ等の案内に従って運転しているから

問4 事例①の取り組みについて、より多くの方々にご利用いただくためには、どうしたらよいと思いますか。(該当するものすべて)



その他

- ・カーナビ、ナビアプリに料金割引を反映させ、割引区間や短縮時間を考慮してルートを選択してくれるような仕組みをつくる
- ・無料にする
- ・現行の高速道路料金を高くする
- ・利用回数が多いほど割引金額が増加するといった、利用回数に応じた割引料金を設定する
- ・リアルタイムの混雑度や予測到着時間を発信する（例：三宮まで有馬街道ルート 20 分、高速ルート 10 分）
- ・分かりやすく説明する
- ・朝の通勤時間帯だけでなく夕方の帰宅時間帯にも割引を実施
- ・高速出口のボトルネックの解消

(2) 事例②「小東山6丁目交差点 渋滞回避 WEB ツール」

【参考】神戸市 HP <https://www.city.kobe.lg.jp/a83166/jutaikaihi.html>

【内容】休日の交通集中による混雑が課題となっている小東山6丁目交差点(垂水区)において、現地の映像を WEB 上でライブ配信することで、混雑を避けていただく対策

【期間】2022年12月17日～2024年3月末

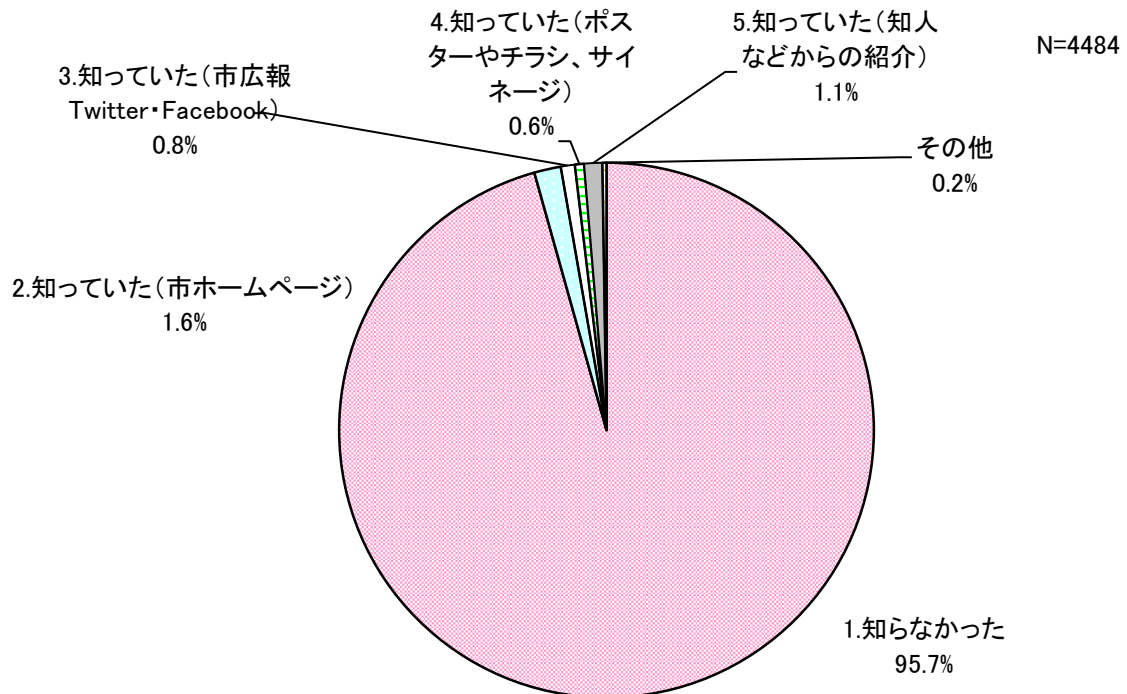


小東山6丁目交差点(垂水区)位置



渋滞回避 WEB ツールの配信サイト画面

問5 事例②「小東山6丁目交差点 渋滞回避 WEB ツール」の取り組みをご存じでしたか。また、ご存じであった場合は、どちらでこのサービスを初めてお知りになったかを () からお選びください。



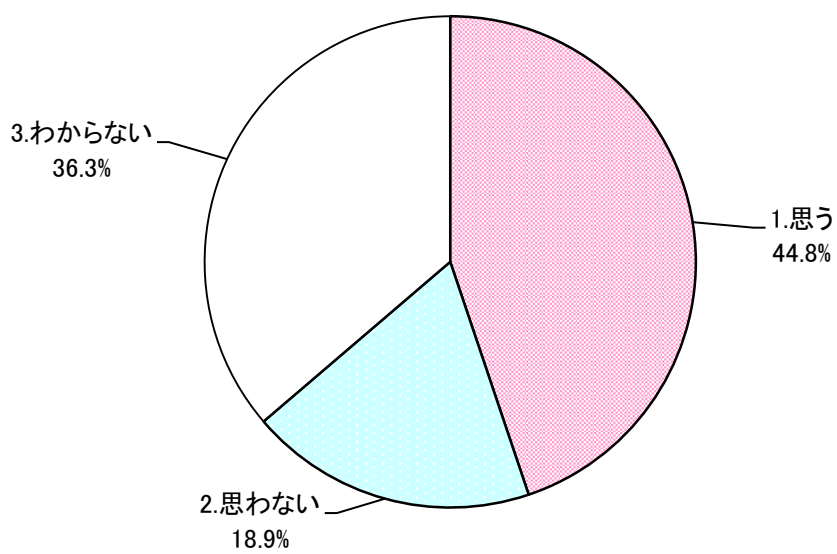
その他

- ・ネットニュース

配信サイトをご覧ください。<https://yca-office.safetycam.jp:9181/map>

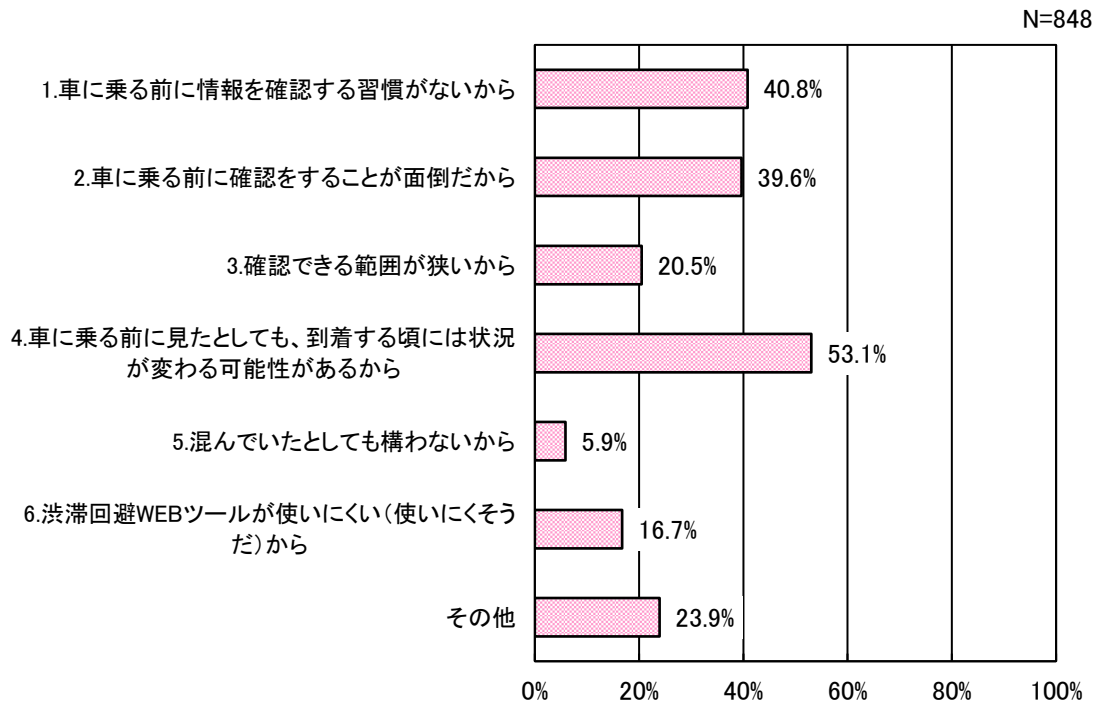
問6 事例②のようなツールがほかのエリアでも展開されれば、利用しようと思いませんか。

N=4484



< 思わないを選択した方 >

問6-1 その理由は何ですか。(該当するものすべて)

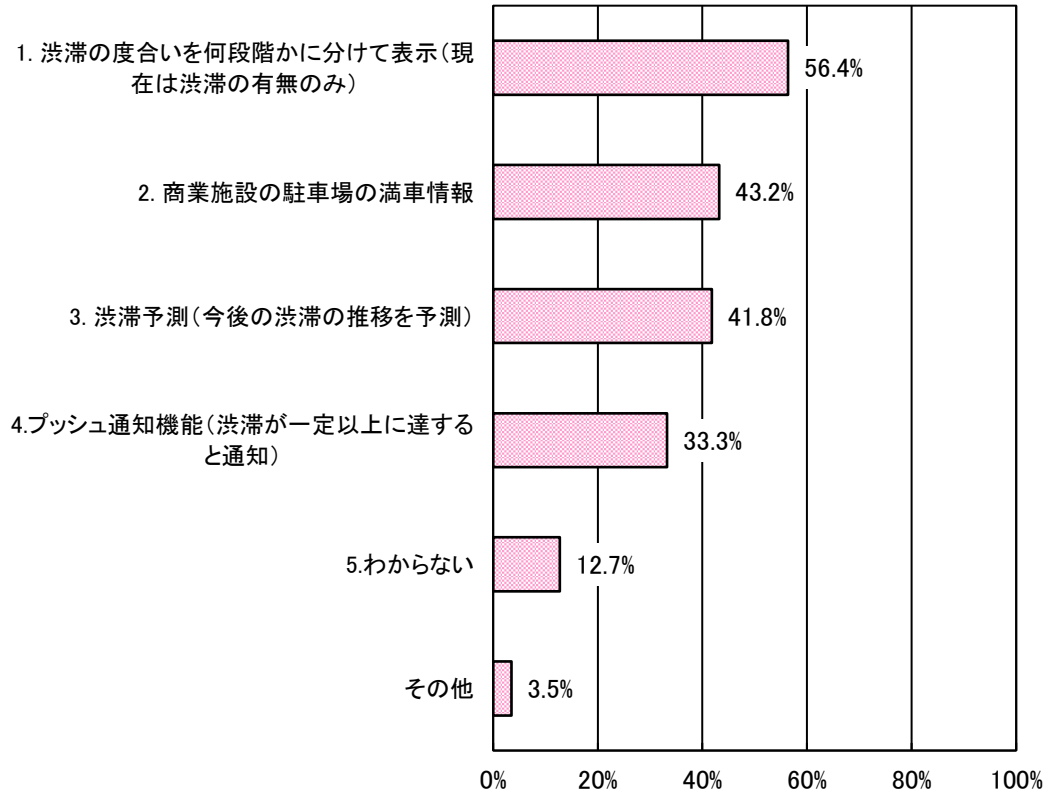


その他

- ・混んでいたとしても、目的地に行くためにはそこを通らないといけないから。
- ・Google マップなどの他の渋滞情報を参考にするから。
- ・慢性的に渋滞が発生していることを事前に認知していれば、あらかじめ時間や経路などを変更するように心掛けているから。
- ・そもそも迂回路が分からないから。
- ・そもそも迂回路がないことがあるから。
- ・運転中に携帯電話を見ることができないから。

問7 事例②のようなWEBツールで、どんな情報が配信されれば、利用しやすくなると思いますか。(該当するものすべて)

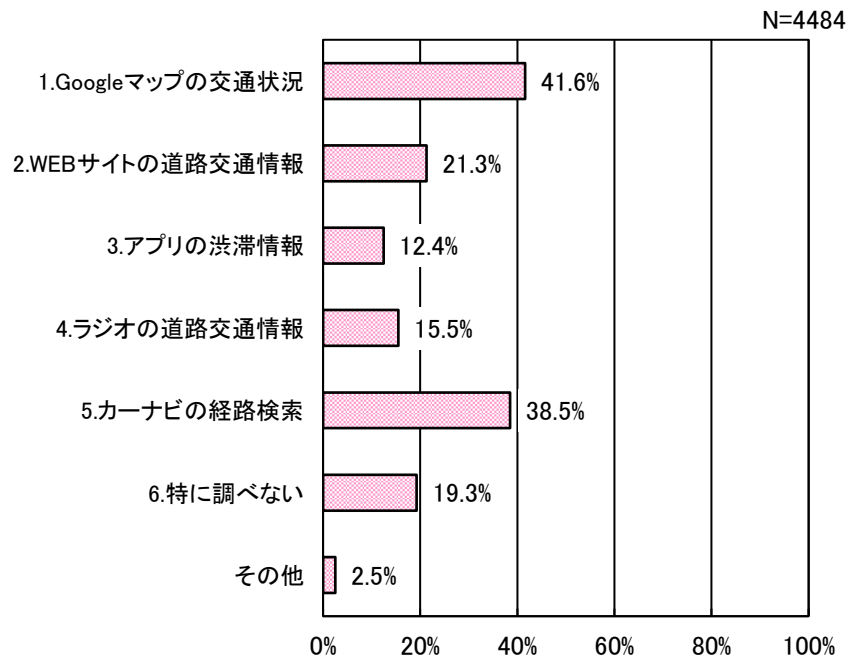
N=4484



その他

- ・カーナビ等のナビと連動させる
- ・迂回路を案内する
- ・運転中に操作しなくても良いようなツールをつくる
- ・周辺商業施設のホームページや会員サイトに配信サイトのリンクを貼る等して掲載する
- ・他の渋滞が課題となっている交差点など、情報の提供エリアを拡大する
- ・事故渋滞、工事などの情報を配信する
- ・渋滞を抜けるまでの時間を表示する
- ・情報の正確さ・信頼性を高める
- ・アプリでの情報配信を行う

問8 渋滞が予想される場所に行くときに、普段どのような渋滞情報を参考にしますか。
(該当するものすべて)



その他

- ・そもそも渋滞が予想される場所には行かないようにする
- ・経験則に基づき、混雑しそうな時間帯や経路を避けるようにする
- ・Twitter等のSNS
- ・JARTIC（日本道路交通情報センター）のNHKテレビ放送
- ・JARTIC（日本道路交通情報センター）に電話して混雑状況を確認

問9 このほか、神戸市の渋滞対策全体について、ご意見、ご感想があればご入力ください。

- ・神戸市は渋滞対策を頑張られてると常々思っております。ありがとうございます。
- ・対策してる事すら知らなかったのでもっと情報が行き届いてくれたら助かる。
- ・抜ける道が少なすぎるせいで、いつも同じところが混んでいる。なので休みの日はその道を特に使いたいと思えない。
- ・渋滞路線の対策を継続的に実施を望みます。
- ・渋滞対策はもっと進めていって欲しいですが、根本的に道路が混まない都市開発をして欲しいです。
- ・道路上に右折、左折の標識が、渋滞により見えず、直進したいのに右折するしかない。などで戸惑う事があるので、解消してほしい。
- ・いつも同じ場所が渋滞してるのに全然解消されないのでもっとちゃんと調査をして信号機の時

間を変えたり道路の車線を変えるなど渋滞解消の努力をして欲しいです

- ・有料道路が迂回路になるのであれば、積極的に割引して交通渋滞緩和を推進し、利用者を増やす事で割引分の損益を補える仕組みにして欲しい。中には有料なので利用した事が無かった人も利便性に気が付き利用頻度が上がる事で割引分が少しでも回収出来れば良いかと思う。

- ・交差点の右折、左折レーンを増やすなど、具体的な対策が必要だと思います

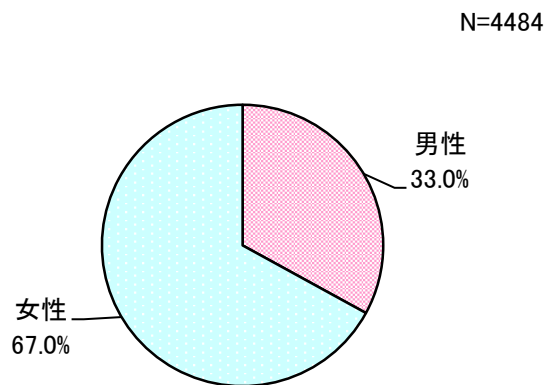
- ・高速道路の料金を少し下げることによって利用する人が増えて、そんなに損失にならないように思います。

- ・AI やビッグデータを活用した渋滞予測や迂回路や時間差利用などの情報提供があると車の利用を控えたり、時間をずらしたりして多少は緩和できるかも…

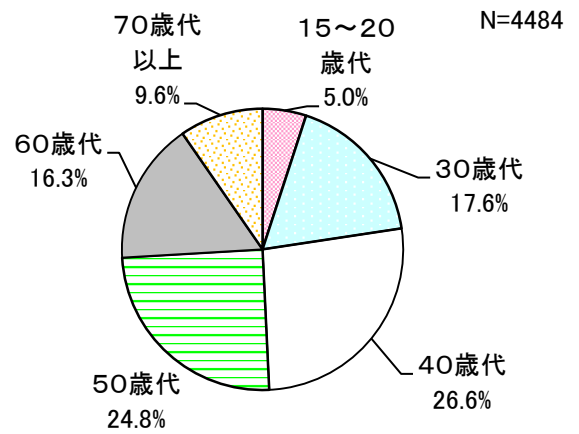
- ・仕事の移動の際に車に乗せてもらう程度なので、渋滞解消の試みは知りませんでした。今以上に広報に力をいれて頂くとか、企業や商業施設との連携でいいアイデアが出るかもと思いました。

全 1,049 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

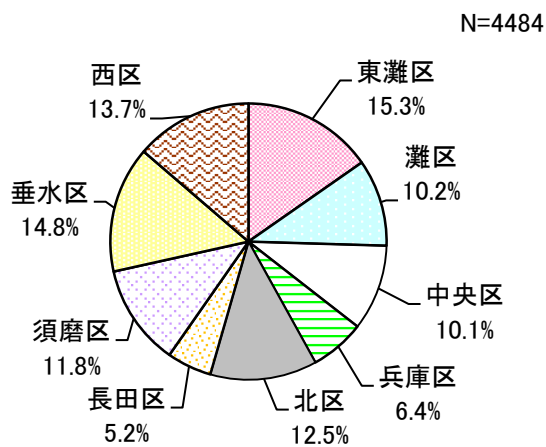
【性別】



【年代】



【区】



【職業】

